

使命

使いは訪れる

ある時は地の果てから

ある時はごく近くから

自分もまた

啓示をもたらす使いであると知らず

人は勝手に死を選ぶ

目を開け地を這う天使達

思い出せその身に帯びた使命

不様な惨めな姿でも

誰かの心に届くだろう

棄てると言うなら捧げてみせよ

この世のどこかで待ちわびる

己の存在理由に

天才

天才は周りから持ち上げられる

天才は思い上がる

天才は凡人の好むものを

くだらないと切り捨てる

天才は凡人の生き方を

くだらないと切り捨てる

自分と違う輝きを発見する感動を

自分と違う響きと共鳴できる感動を

彼らは知らずに逝くのだろうか

稀有な才能と引き換えに

人として一番大切なものを失っているのに

彼らは気付かず逝くのだろうか

天才はなんて不幸せ

天才はなんて可哀想

虚飾

見渡せば

箱と袋であふれてやがる

中身より仰々しく

中身よりかさばり

なんか中身より大切らしい

商品を買いたい家で開けると

入ってたのは失望の二文字

ぎらつく飾りが虚しかったぜ

劣悪な中身隠そうとして

そんなド派手に飾ってんのか

ありのまま出せよ

文句言われたくねえなら

一にも二にも中身を磨け

クレーマーと罵るなら

どうだ

これが俺の中身だ